



今年度は新型コロナウイルスにより
学校生活も日常も大きく変わりましたが、
富里の子どもたちと「澄み切った青空」を
気持ちよく見上げられる日が、一日も早く
訪れるようにと心より願っています。

富里市青少年相談員連絡協議会の研修事業



令和2年12月12日。富里市青少年相談員連絡協議会では、相談員の情報共有と相互理解を深めるとともに、資質向上と活動の一層の充実を図るため「課題研修会」が行われました。

講師に「富里市学級経営アドバイザー兼教育相談員」の渡邊 薫先生、「酒々井町立大室台小学校校長」の玉井清人先生をお招きして「子どもたちとの接し方」について講演していただきました。子どもたちから大人気といわれるお二人の講師の先生からは、その魅力が伝わるような大変貴重なお話を聴くことができました。



渡邊 薫先生

テーマ：子どもたちの心に寄り添った支援

「傾聴」という言葉がありますが、それは「耳と目と」そして「心」をフルに使って子どもに寄り添うことです。1年先を見るものは「種」を撒け。10年先を見るものは「木」を植えよ。100年先を見るものは「人」を育てよ。

大きな木を育てるための「根っこ」の部分、その栄養は青少年相談員の存在であり、周りにいる大人たちです。子どもたちがそれぞれ自分の「木」にどんな花や実をつけるのかを楽しみに、これからも動いていきたいと思えます。



玉井 清人先生

テーマ：遊びを通してコミュニケーションを図ろう

一番価値のあることは子どもたちの「名前のない遊び」です。例えば雨の日に子どもが水たまりを踏んで遊ぶ光景。水たまりを踏んで、足から伝わる水の跳ねる感触、音を子どもたちは楽しんでいます。そういった子どもの「名前のない遊び」にとことん寄り添うことは大切です。「遊び」を通して築かれた信頼関係。それをベースに子どもが心を開くことはよくあることです。大人が子どもと共に「本気であそべること」はとても大切だと考えます。



富里市青少年相談員連絡協議会
会長 小幡 健二郎

日頃より富里市青少年相談員連絡協議会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和2年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い思うような活動ができな
いまま、令和3年第20期最後の1年を迎えようとしています。

青少年相談員は、千葉県知事と富里市長から委嘱を受けて活動し、子供たちの良き相談
相手となることを目的としています。「子供たちの笑顔のために」をスローガンに掲げ、
自分たちに何が出来るのかを日々考えながら第20期最後の1年に取り組んでいきたいと
思っております。同じく、活動がなかなか思うようにいかない学校や団体とも協力して、
子供たちの健全育成に微力ながら貢献して参ります。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

活動紹介

令和2年度の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年主催事業として行っていた東京タワーを歩いて昇る「東京ウォーク」、富里市内の各学校から児童が参加して盛大に行われていた「少年少女綱引き・ドッジボール大会」等の中止を余儀なくされました。

そこで「このようなコロナ禍の状況でも青少年相談員として何かできることはないか」と各小学校区の状況に合わせて工夫を凝らした活動を計画しました。実施に至らなかった地区もありましたが、緊急事態宣言が発出される中、学校を応援したいと年度末ぎりぎりまで事業実施のタイミングを計りました。

浩養小学校区



浩養小学校区では「学校応援事業」を計画しました。

例年は浩養バザーのわいわいカーニバルや資源回収、運動会のお手伝いをしています。

日吉台小学校区



日吉台小学校区では「学校応援プロジェクト」として「全4回」にわたり先生方、地域の方々と協力し中学校の環境整備、小学校の消毒を行いました。

また、卒業する小学校6年生の思い出づくりで「タイムカプセル事業」を開催しました。アトラクションでは「鬼滅の刃」のキャラクターに扮し卒業生にメッセージを伝えました。

根名小学校区



根名小学校区では「学校応援事業」として、先生方、PTA、地域の方々と協力して渡り廊下のすのこの修繕および重機を使って水田整備をしました。

また、伸びすぎて危ない桜の木の剪定を行いました。

富里第一小学校区



富里第一小学校区では「学校応援事業」を計画しました。また、「卒業記念フォトフレーム」を活用し、小学生並びに保護者をはじめとする関係者に活動をPRしました。

七栄小学校区



七栄小学校区では例年、社会科見学事業を実施しています。

今年度は「学校応援事業」として小学校の環境整備に携りました。

富里南小学校区

富里南小学校区では「緊急事態宣言」の中、自宅で過ごす時間が多い子どもたちのために相談員が図書を用意し貸し出しを行いました。また、図書委員会の児童と学校協力のもと本の中から各学年ごとにクイズを作って貼りだしてもらい、本を読むとその答えがわかるような工夫をしました。



白山羊（しろやぎ）文庫

青少年相談員の方々から図書を購入していただきました。学級の間の廊下に置いて、貸し出しています。さっそく図書館司書の阿部日香里先生や図書委員が本に関する問題を出題しています。たくさんの児童が手にとってくれることでしょう。ありがとうございます。



富里小学校区

例年は夏休み前に、富里小学校を会場にして5、6年生対象のキャンプを開催しています。校庭で交通安全教室や飯盒を使ってご飯を炊き、カレーを作って体育館に泊ります。

今年度は「学校応援事業」を計画しました。

連絡協議会のその他の事業



市民活動フェスタでは、「富里市青少年相談員連絡協議会」の活動報告、第20期各小学校区相談員のメッセージに顔写真を添えて紹介しました。

また作成したPR動画が、とみさと市民サポートセンターのFacebookで紹介されました。

青少年相談員は千葉県 の制度として設けられたもので、千葉県知事と富里市長から任期を3年間として委嘱されています。

「地域ぐるみ」で青少年を育てることの重要性から生まれました。

活動を通して、富里の子どもたちが元気に明るく、未来の富里市を支える人になってほしいと願っています。